

1日目：5月24日(金) プログラム

※座長は五十音順に掲載

A 会場

9:00~10:30 シンポジウム 1 【肉腫：診断から治療まで】 抄録 P. 70

座長：尹 浩信（熊本大学 皮膚病態治療再建学分野）
土田 哲也（埼玉医科大学 皮膚科学教室）**S1-1** 皮膚血管肉腫 cutaneous angiosarcoma の病理診断廣瀬隆則^{1,2}（ひろせ たかのり）¹兵庫県立がんセンター 病理診断科、²神戸大学 地域連携病理学**S1-2** 軟部肉腫の診断と治療—整形外科骨軟部腫瘍専門医の経験と提言—秋末敏宏^{1,2}（あきすえ としひろ）、河本旭哉²、原 仁美²、深瀬直政²、川上洋平²、黒田良祐²¹神戸大学 保健学研究科、²神戸大学 整形外科**S1-3** 肉腫の化学療法：主に皮膚血管肉腫について

藤澤康弘（ふじさわ やすひろ）

筑波大学 皮膚科

S1-4 血管肉腫治療の厳しい現状と多くの問題点について

山崎直也（やまざき なおや）、高橋 聡、並川健二郎、中野英司

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

10:30~11:30 教育講演 1 抄録 P. 62

座長：奥山 隆平（信州大学 皮膚科）

教育講演 1 PD-1 阻害がん免疫治療の最前線：がんによる免疫逃避機構との戦い

茶本健司（ちゃもと けんじ）、本庶 佑

京都大学 免疫ゲノム医学

12:10~13:10 ランチョンセミナー 1 【BRAF 陽性メラノーマに対する薬物療法】 抄録 P. 94

座長：爲政 大幾（大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）
宇原 久（札幌医科大学 皮膚科学講座）**LS1-1** BRAF 遺伝子変異陽性メラノーマに対する最新の薬物療法

高橋 聡（たかはし あきら）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

LS1-2 BRAF 阻害剤+MEK 阻害剤における眼障害のマネジメント

鈴木茂伸 (すずき しげのぶ)
 国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科

共催：小野薬品工業株式会社

13:20～14:20 招待講演

抄録 P. 60

座長：錦織千佳子 (神戸大学 皮膚科)

招待講演 がんの近赤外光線免疫療法

小林久隆 (こばやし ひさたか)
 米国国立がん研究所 分子イメージングプログラム

14:25～15:25 シンポジウム 2 【非侵襲的治療最前線】

抄録 P. 74

座長：山本 明史 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)

S2-1 皮膚悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の現状

平塚純一¹ (ひらつか じゅんいち)、神谷伸彦¹、田中 了²、青山裕美²、櫻井良憲³、
 鈴木 実³
¹川崎医科大学 放射線腫瘍科、²川崎医科大学 皮膚科、³京都大学 複合原子力科学研究所

S2-2 粒子線治療 (陽子線・重粒子線)

～特に粘膜メラノーマ、軟部肉腫、放射線皮膚障害について～
 出水祐介 (でみず ゆうすけ)
 兵庫県立神戸陽子線センター 放射線治療科

15:30～17:30 スポンサーードシンポジウム 1 【メラノーマ薬物療法の進歩】 抄録 P. 86

座長：竹之内辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科)
 山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

SS1-1 免疫抑制—制御性 T 細胞とステロイド

前田優香 (まえだ ゆか)
 国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野

SS1-2 メラノーマに対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の現状と展望

並川健二郎 (なみかわ けんじろう)
 国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

SS1-3 皮膚腫瘍外科医の立場から見たメラノーマ診療の変遷

～リンパ節郭清、そして術後補助療法～
 松下茂人 (まつした しげと)
 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

SS1-4

Nivo+Ipi 併用療法における irAE のマネジメント
—PD-1 抗体単剤と何が違う?—

吉野公二 (よしの こうじ)

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

9:00~9:50 一般演題【メラノーマ1】

抄録 P. 110

座長：岩下 宣彦（愛知医科大学 皮膚科）
種村 篤（大阪大学 皮膚科）**B-1-1** 涙嚢原発悪性黒色腫の1例中條聡美¹（ちゅうじょう さとみ）、脇 裕磨¹、渡邊淑織¹、伊藤宗成¹、延山嘉真¹、
市原巧介²、朝比奈昭彦¹¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²東京慈恵会医科大学 眼科**B-1-2** 結膜悪性黒色腫との鑑別を要し、経涙流的と思われる涙嚢転移を伴った
眼瞼皮膚原発悪性黒色腫の1例中村善雄¹（なかむら よしお）、平井郁子¹、種瀬啓士¹、矢富良寛¹、竹内紗規子¹、
山上 淳¹、太田 優²、三上修治³、亀山香織³、船越 建¹¹慶應義塾大学 皮膚科、²慶應義塾大学 眼科、³慶應義塾大学 病理診断科**B-1-3*** 悪性黒色腫関連網膜症を発症した左下腿悪性黒色腫の1例長野 翠¹（ながの みどり）、金久史尚¹、浅井 純¹、加藤則人¹、竹中秀也²、山岸哲哉³¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都市立病院 皮膚科、³京都府立医科大学 眼科**B-1-4** 対側の鼠径部リンパ節転移をきたした母趾悪性黒色腫の1例三浦慎平（みうら しんぺい）、中川倫代、角田加奈子、大西正純、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科**B-1-5*** 病期分類に苦慮した腰部悪性黒色腫の1例金谷悠司¹（かなたに ゆうし）、宮下和也¹、笥 祐未¹、真柴久実¹、小川浩平¹、
宮川 史¹、小豆澤宏明¹、浅田秀夫¹、萬木 聡²、桑原理充²¹奈良県立医科大学 皮膚科、²奈良県立医科大学 形成外科**B-1-6*** 急速に進行した原発不明悪性黒色腫の1例宗盛倫子¹（むねもり みちこ）、森田知世¹、松原大樹¹、菅 崇暢¹、河合幹雄¹、
秀 道広¹、樽谷貴之²、平川治男³¹広島大学 皮膚科、²広島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、³広島赤十字・原爆病院 耳鼻咽喉科**B-1-7*** 原発巣周囲に多発皮膚転移を認めた後頭部悪性黒色腫の1例安岡紗哉香（やすおか さやか）、大下彰史、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科**B-1-8*** 2歳児に発生した悪性黒色腫の1例山口智彦¹（やまぐち ともしこ）、藤原雅雄¹、松下友樹¹、瀬野尾歩¹、大田悠介¹、
深水秀一¹、青島正浩²、戸倉新樹²¹浜松医科大学 形成外科、²浜松医科大学 皮膚科

座長：八田 尚人（富山県立中央病院 皮膚科）
船坂 陽子（日本医科大学 皮膚科）

B-2-1 軟骨化生を伴った右母指悪性黒色腫の1例

日置麻里（ひおき まり）
京都府立医科大学 皮膚科

B-2-2 Spitzoid melanoma との鑑別に苦慮した Atypical Spitz nevus の1例

岩永 聡¹（いわなが あきら）、楯塚 大¹、安倍邦子^{2,3}、新井栄一⁴、室田浩之¹
¹長崎大学 皮膚科、²長崎大学 病理診断科、³長崎原爆病院 病理診断科、
⁴埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科

B-2-3 左上腕に生じた desmoplastic malignant melanoma の1例

柴田知之（しばた ともゆき）、竹尾友宏、岩下宣彦、大嶋雄一郎、渡辺大輔
愛知医科大学 皮膚科

B-2-4* 脱分化をきたし急速に増大した耳前部悪性黒色腫の1例

高橋沙希¹（たかはし さき）、山川浩平¹、石川秀幸¹、福澤理映¹、金岡美和¹、池田信昭¹、
和田秀文¹、加藤生真²、奥寺康司²、相原道子¹
¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 病理診断科

B-2-5* 右小陰唇に発症した pigmented epithelioid melanocytoma の1例

勝尾公祐（かつお こうすけ）、加来 洋、田原純平、足立英理子、滝本莉子、
山村健太郎、遠藤雄一郎、江川形平、椛島健治
京都大学 皮膚科

B-2-6* 表皮との連続性を示した悪性黒色腫皮膚転移の3例

三宅知美¹（みやけ ともみ）、芦田敦子¹、御子柴育朋²、境澤香里¹、奥山隆平¹
¹信州大学 皮膚科、²御子柴皮膚科医院

B-2-7* 皮膚生検で扁平上皮マーカー陽性となり有棘細胞癌を疑ったが、切除標本で悪性黒色腫の診断に至った1例

大野麻衣子¹（おおの まいこ）、伊東孝通¹、與語晶子¹、井手剛俊¹、吉田舞子¹、
古江増隆¹、山田裕一²、古賀 裕²、大石善丈²、小田義直²
¹九州大学 皮膚科、²九州大学 病理診断科

座長：竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）

LS2 メルケル細胞癌に対する新規薬剤アベルマブの臨床的意義と治療上の留意点

山崎直也（やまざき なおや）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：メルクバイオファーマ株式会社/ファイザー株式会社

座長：熊野 公子（西宮市立中央病院 皮膚科）

教育講演 2 悪性腫瘍切除後顔面再建のストラテジー橋川和信（はしかわ かずのぶ）
神戸大学 形成外科

15:30~17:00 教育講演 3 【押さえておきたい皮膚悪性腫瘍エッセンス】 抄録 P. 64

座長：金蔵 拓郎（鹿児島大学 皮膚科）
清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）**教育講演 3-1** 緩和医療総論坂下明大（さかした あきひろ）
神戸大学医学部附属病院腫瘍センター 緩和ケアチーム**教育講演 3-2** Skin tumor；WHO の新分類基準について高井利浩（たかい としひろ）
兵庫県立がんセンター 皮膚科**教育講演 3-3** 低分子性分子標的抗がん剤による皮膚障害藤原 進（ふじわら すすむ）
神戸大学 皮膚科学分野

17:05~18:10 一般演題 【メラノーマ 3・その他】 抄録 P. 114

座長：爲政 大幾（大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）
木庭 幸子（信州大学 皮膚科）**B-3-1** 根治切除不能な化学療法未治療の悪性黒色腫に対するニボルマブと
イピリムマブ併用第 II 相試験（最終報告）内 博史^{1,2}（うち ひろし）、清原祥夫³、竹之内辰也⁴、宇原 久⁵、古賀弘志⁶、山崎直也⁷
¹九州がんセンター 皮膚科、²九州大学 皮膚科、³静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、
⁴新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁵札幌医科大学 皮膚科、⁶信州大学 皮膚科、
⁷国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科**B-3-2** BRAF 遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫でのダブラフェニブ/
トラメチニブ市販後調査の中間報告手嶋保智¹（てしま やすとも）、木崎美奈子²、栗原良平³、春宮美希⁴
¹ノバルティス ファーマ株式会社 薬制本部再審査部、
²ノバルティス ファーマ株式会社 薬制本部安全性情報部、
³ノバルティス ファーマ株式会社 開発本部生物統計部、
⁴ノバルティス ファーマ株式会社 開発本部固形腫瘍臨床開発部

B-3-3 訪問診療専門クリニックと連携した進行期悪性黒色腫

石井美美¹ (いしい ふみ)、山崎 修¹、加持達弥¹、川上佳夫¹、片山英樹²、國末充央³、
武藤 純³、小森栄作⁴

¹岡山大学 皮膚科、²岡山大学病院緩和支援医療科、³つばさクリニック岡山、
⁴ももたろう往診クリニック

B-3-4 市民への皮膚癌無料検診「皮膚がんトリアージ」2年連続開催の効用

木戸一成 (きど いっせい)、中島英貴、佐野栄紀
高知大学 皮膚科

B-3-5 爪部メラノーマ進行期症例への抗 PD-1 抗体効果に関する後ろ向き研究—JAMP study (中間集積報告)

竹之内辰也¹ (たけのうち たつや)、中村泰大²、吉野公二³、吉川周佐⁴、八田尚人⁵、
松下茂人⁶、宮下 梓⁷、上原治朗⁸、加藤潤史⁹、山崎直也¹⁰

¹新潟県立がんセンター 皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、
³都立駒込病院 皮膚腫瘍科、⁴静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、
⁵富山県立中央病院 皮膚科、⁶鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、⁷熊本大学 皮膚科、
⁸旭川医科大学 皮膚科、⁹札幌医科大学 皮膚科、¹⁰国立がん研究センター 皮膚腫瘍科

B-3-6 掌蹠メラノーマ進行期症例への抗 PD-1 抗体効果に関する後ろ向き研究—JAMP study (中間集積報告)

木庭幸子¹ (きにわ ゆきこ)、中村泰大²、後藤克修³、中村貴之⁴、河合 徹⁵、大塚篤司⁶、
緒方 大⁷、柴山慶継⁸、林 利彦⁹、山崎直也¹⁰

¹信州大学 皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、³名古屋大学 皮膚科、
⁴筑波大学 皮膚科、⁵東京大学 皮膚科、⁶京都大学 皮膚科、⁷埼玉医科大学 皮膚科、
⁸福岡大学 皮膚科、⁹北海道大学 形成外科、¹⁰国立がん研究センター 皮膚腫瘍科

B-3-7 進行期末端黒子型メラノーマへの抗 PD-1 抗体の有効性—JAMP study 統合サブグループ解析 (中間集積報告)

中村泰大¹ (なかむら やすひろ)、内 博史²、古江増隆²、清原祥夫³、藤澤康弘⁴、
福島 聡⁵、宇原 久⁶、爲政大幾⁷、並川健二郎⁸、山崎直也⁸

¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、²九州大学 皮膚科、
³静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、⁴筑波大学 皮膚科、⁵熊本大学 皮膚科、
⁶札幌医科大学 皮膚科、⁷大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、
⁸国立がん研究センター 皮膚腫瘍科

B-3-8 根治切除不能な悪性黒色腫を対象としたペムブロリズマブ(キイトルーダ)の使用成績調査中間報告

山崎直也¹ (やまざき なおや)、尾崎正彦²、濱田昌宏²、竹内紀子²、伊藤雄一郎³、
前川慎一郎²

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²MSD株式会社 ファーマコビジランス、
³MSD株式会社 オンコロジーメディカルアフェアーズ

9:00~10:15 一般演題【メラノーマ4】

抄録 P.116

座長：宇原 久（札幌医科大学 皮膚科）

中村 泰大（埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科）

C-1-1 卵巣原発メラノーマと考えた症例への免疫チェックポイント阻害薬の効果について齋藤晋太郎^{1,2}（さいとう しんたろう）、中村泰大¹、浅見友梨¹、矢野光剛³、松谷泰祐¹、寺本由紀子¹、山本明史¹、石川 治²、安田政実³¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²群馬大学大学院 医学系研究科皮膚科学、³埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科**C-1-2** 当科で経験した悪性黒色腫に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法2例の検討

横見明典（よこみ あきのり）、後藤範子、角村由紀子

市立豊中病院 皮膚科

C-1-3* ペムブロリズマブの投与にて完全奏功を維持している陰部悪性黒色腫の1例

堀本浩平（ほりもと こうへい）、加藤潤史、松井馨之、佐々木洋、細川夕菜、

澤田秀匡、佐藤さゆり、肥田時征、宇原 久

札幌医科大学 皮膚科

C-1-4 他剤で増悪、ペンブロリズマブに切り替え転移巣が縮小した悪性黒色腫の2例高橋 彩¹（たかはし あや）、田口良吉¹、佐藤良樹¹、横山恵美²、須山孝雪²、福田知雄¹¹埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科、²獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科**C-1-5** ニボルマブ単剤療法不応例に対するニボルマブ＋イピリムマブ併用療法の奏効の検討

上原治朗（うえはら じろう）、前田拓哉、大阿久聡恵、永井幸司郎、加藤めぐみ、

山下千聡、日浦 梓、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

C-1-6 根治切除不能悪性黒色腫患者におけるニボルマブ単剤療法の臓器別奏効の検討

前田拓哉（まえだ たくや）、大阿久聡恵、永井幸司郎、加藤めぐみ、山下千聡、

日浦 梓、上原治朗、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

C-1-7 食道悪性黒色腫のニボルマブ投与中に生じた肝転移に肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼療法が奏効した1例

加藤卓浩¹ (かとう たくひろ)、飯野志郎¹、尾山徳孝¹、長谷川稔¹、廣野靖夫²、根本朋幸³、中本安成³、今村好章⁴

¹福井大学 皮膚科、²福井大学 消化器外科、³福井大学 消化器内科、⁴福井大学 病理部

C-1-8* Nivolumab 投与終了後、4年間完全寛解を維持している右母趾原発悪性黒色腫の1例

牛田真奈加 (うしだ まなか)、金久史尚、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科

C-1-9* Ipilimumab と RT の併用、Pembrolizumab と RT の併用により転移巣の縮小を認めた転移性悪性黒色腫の1例

戸澤麻美 (とざわ あさみ)、森 秀樹、泉本真美子、中岡啓喜
愛媛大学 形成外科

C-1-10 メラノーマ患者11例に対する免疫放射線療法の検討

花岡佑真¹ (はなおか ゆうま)、種村 篤¹、高藤円香¹、清原英司¹、金田眞理¹、藤本 学¹、鈴木 修²、磯橋文明²、小川和彦²

¹大阪大学大学院医学系研究科 皮膚科学教室、²大阪大学 放射線治療学教室

10:20~11:15 一般演題【リンフォーマ1】

抄録 P.119

座長：河井 一浩 (新潟医療生協木戸病院 皮膚科)
長谷 哲男 (東京医科大学 皮膚科)

C-2-1* カテーテル挿入部に発症した皮膚白血病の1例

小林友紀¹ (こばやし ゆき)、上原治朗¹、佐々木健太¹、斉藤剛史¹、松谷泰祐¹、土井春樹¹、本間 大¹、山本明美¹、土岐康通²

¹旭川医科大学 皮膚科、²旭川医科大学 血液・腫瘍内科

C-2-2 初診時腫瘤を呈した原発性皮膚 CD8 陽性進行性表皮向性細胞傷害性 T 細胞リンパ腫の1例

坊木ひかり¹ (ぼうき ひかり)、宮垣朝光¹、高岡真梨子¹、安田あゆみ¹、淡路健太郎¹、岡 知徳¹、管 析¹、野々垣彰²、大松華子²、佐藤伸一¹

¹東京大学 皮膚科、²相模原病院 皮膚科

C-2-3 水疱症様の外観を呈した原発性皮膚 CD8 陽性急速進行性表皮向性細胞障害性 T 細胞リンパ腫の1例

佐藤真由 (さとう まゆ)、渡邊幸奈、入江絹子、伊藤 崇、森 龍彦、大塚幹夫、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

C-2-4 原発性皮膚濾胞中心リンパ腫の1例

生野由起¹ (しょうの ゆき)、管 析¹、岡 知徳¹、乗松百合絵¹、淡路健太郎¹、
宮垣朝光¹、佐藤伸一¹、松田秀則²

¹東京大学 皮膚科、²日本医科大学武蔵小杉病院

C-2-5* 皮膚 marginal zone lymphoma の治療後に皮下膠原線維の増生を認めた一例

横井一範 (よこい かずのり)、清原英司、藤本 学

大阪大学 皮膚科

C-2-6 肛囲潰瘍から診断に至ったメトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の1例

池村澄枝¹ (いけむら すみえ)、増澤真実子¹、村松 匠²、翁 祖誠³、天羽康之¹

¹北里大学 皮膚科、²北里大学 膠原病内科、³北里大学 血液内科

C-2-7* CD3+CD30- 小リンパ球様単核球による顕著な表皮向性浸潤を示した原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫

濱田利久¹ (はまだ としひさ)、香月奈穂美²、芦田日美野¹、細川洋一郎¹、池田政身¹

¹高松赤十字病院、²高松赤十字病院 病理部

C-2-8* 早期菌状息肉症における大細胞転化病変の自然消退例

九穂尚子¹ (くぼ なおこ)、延山嘉真¹、中條聡美¹、脇 裕磨¹、渡邊淑識¹、伊藤宗成¹、
伊藤秀記²、朝比奈昭彦¹

¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²立川皮膚科クリニック

12:10~13:10 ランチョンセミナー 3 【悪性軟部腫瘍 (血管肉腫) の治療戦略】

抄録 P. 97

座長：大塚 篤司 (京都大学 外胚葉性疾患創薬医学講座)

LS3 皮膚血管肉腫治療における治療選択・次の一手は？

藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)

筑波大学 皮膚科

共催：イーザイ株式会社

14:25~15:05 一般演題 【間葉系・組織球系腫瘍 1】

抄録 P. 121

座長：清原 隆宏 (関西医科大学総合医療センター 皮膚科)

福本 隆也 (福本皮フ病理診断科)

C-3-1 COL1A1-PDGFB 融合遺伝子の検出で診断しえた Fibrosarcomatous variant of DFSP

原 寛¹ (はら ひろし)、牧野輝彦¹、古川史奈¹、森 直哉¹、千代恵理子²、清水忠道¹

¹富山大学 皮膚科、²えりこ皮ふ科クリニック

C-3-2 頭蓋骨に浸潤した Dermatofibrosarcoma protuberans の 1 例

石川秀幸¹ (いしかわ ひでゆき)、和田秀文¹、中村大志²、三宅暁夫³、相原道子¹
¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 脳神経外科、³横浜市立大学 病理診断科

C-3-3* 3歳時に発症したと考えられる前胸部の atrophic DFSP の 1 例

蓮井謙一¹ (はすい けんいち)、濱田利久¹、香月奈穂美²、芦田日美野¹、細川洋一郎¹、
 池田政身¹
¹高松赤十字病院 皮膚科、²高松赤十字病院 病理部

C-3-4* 胸腔内浸潤し、アドリアマイシン・イフォスファミド併用化学療法と重粒子線照射で部分奏功した隆起性皮膚線維肉腫の 1 例

金 滋仁¹ (きむ ちやいん)、安田正人¹、須藤麻梨子¹、岸 史子¹、茂木精一郎¹、
 石川 治¹、岡本雅彦²
¹群馬大学 皮膚科、²群馬大学 放射線科

C-3-5 紡錘細胞型・硬化型横紋筋肉腫の一例

木村徹子¹ (きむら てつこ)、田中 了¹、原慶次郎²、木村知己³、藤本康人⁴、谷岡洋亮⁵、
 岡脇 誠⁵、山根弘路⁶、国定俊之⁷
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 脳神経外科、³川崎医科大学 形成外科・美容外科、
⁴川崎医科大学 病理、⁵川崎医科大学 臨床腫瘍科、⁶川崎医科大学総合医療センター 内科、
⁷岡山大学 整形外科

15:10~16:10 一般演題【メラノーマ5】

抄録 P. 123

座長：佐野 栄紀 (高知大学 皮膚科)
 錦織千佳子 (神戸大学 皮膚科)

C-4-1 ダーモスコピークイズの回答データより判別した理解度に差のある所見の検討

山本洋輔¹ (やまもと ようすけ)、外川八英¹、田中 勝²、松江弘之¹
¹千葉大学 皮膚科、²東京女子医科大学東医療センター 皮膚科

C-4-2 腫瘍免疫における転写因子 BATF2 の IL-12p40 発現促進の機序について

金丸 央¹ (かねまる ひさし)、佐藤 莊²、福島 聡¹、尹 浩信¹、審良静男²
¹熊本大学大学院 皮膚病態治療再建学分野、²大阪大学 自然免疫学分野

C-4-3 再プログラミング因子による間葉一上皮移行の誘導とがん悪性度の減弱化

高石樹朗 (たかいし みきろう)、佐野栄紀
 高知大学 皮膚科

C-4-4 Expression of NUA2 and p-Akt in various skin tumors

アルブサニヘンドウ (あるぶさに へんどう)、横関博雄、並木 剛
 東京医科歯科大学 皮膚科分野

C-4-5 悪性黒色腫細胞におけるマイクロアレイを用いた NUA2 下流シグナル伝達路の検討

並木 剛¹ (なみき たけし)、松村寛行²、谷口智憲³、河上 裕³、横関博雄¹、西村栄美²
¹東京医科歯科大学 皮膚科、²東京医科歯科大学難治疾患研究所 幹細胞医学分野、
³慶應義塾大学 医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門

C-4-6 LCh 色空間を用いた色素性皮膚病変の色の評価法

坂井浩志 (さかい ひろし)、中西雄也、安藤純実
 大阪警察病院 皮膚科

C-4-7 メラノーマ診断支援装置ハイパースペクトル・イメージャー (HSI) の性能～白人色素性病変の診断能力～

永岡 隆¹ (ながおか たかし)、グスタフクリステンセン²、クリスチャンインバー²、清原祥夫³、中村 厚⁴、宗田孝之⁴
¹近畿大学 生物理工学部、²ルンド大学 皮膚科、³静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、
⁴早稲田大学 理工学術院

16:15～17:10 一般演題【メラノーマ6】

抄録 P. 125

座長：山本 明史 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)
 横山 恵美 (獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科)

C-5-1 右鼻腔悪性黒色腫の術後再発に対してペンブロリズマブが奏効した 1 例

入間田萌花 (いりまだ もゆか)、藤村 卓、神林由美、佐藤遥太、谷田佳世、遠野久幸、橋本 彰、相場節也
 東北大学 皮膚科

C-5-2* ニボルマブ投与により白斑・ぶどう膜炎の発症とともに悪性黒色腫転移巣が消失した 1 例

柳瀬哲至¹ (やなせ てつじ)、頼田友里¹、水野隼登¹、玉理紗帆¹、村上祐美子²
¹広島市立安佐市民病院 皮膚科、²広島市立安佐市民病院 眼科

C-5-3 抗 PD-1 抗体から抗 CTLA-4 抗体併用へのスイッチにより血痰が消失した悪性黒色腫多発肺転移の 1 例

大沼毅紘 (おおぬま たけひろ)、木下真直、猪爪隆史、島田真路、川村龍吉
 山梨大学 皮膚科

C-5-4 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法で長期奏効が得られた進行期悪性黒色腫の 4 例

竹本景太^{1,2} (たけもと けいた)、結城大介^{1,3}、高塚純子¹、竹之内辰也¹
¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科、³新潟大学 皮膚科

C-5-5 当科における Nivolumab による術後補助療法の検討

角総一郎 (かど そういちろう)、前川武雄、神谷浩二、村田 哲、大槻マミ太郎
 自治医科大学 皮膚科

C-5-6 当科におけるニボルマブ・イピリムマブ併用療法についての検討
前川武雄 (まえかわ たけお)、角総一郎、神谷浩二、村田 哲、大槻マミ太郎
自治医科大学 皮膚科

C-5-7 筑波大学皮膚科における進行期悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬による治療効果の検討
中村貴之 (なかむら よしゆき)、田中亮多、石塚洋典、藤本 学、藤澤康弘
筑波大学 皮膚科

17:15~18:00 一般演題【メラノーマ】

抄録 P. 127

座長：高橋 聡 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)
山崎 修 (岡山大学 皮膚科)

C-6-1 ニボルマブ/イピリムマブ併用療法後に重症筋無力症を生じた悪性黒色腫—当科での併用療法のまとめとともに
六戸大樹 (ろくのへ だいき)、金子高英、古川和仁、相樂千尋、中野 創、澤村大輔
弘前大学 皮膚科

C-6-2 ニボルマブ・イピリムマブ併用中に肝破裂を来した粘膜悪性黒色腫の1例
大西正純¹ (おおにし まさずみ)、丹治峻之¹、井上 剛¹、三浦慎平¹、中川倫代¹、
角田加奈子¹、馬場俊右¹、天野博雄¹、加藤健一²
¹岩手医科大学 皮膚科、²岩手医科大学 放射線診断科

C-6-3 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法後に血球貪食症候群を発症した悪性黒色腫の1例
青木恵美 (あおき めぐみ)、松下茂人、井上明葉、小森崇矢
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科

C-6-4 免疫チェックポイント阻害剤投与後に水疱性類天疱瘡を生じた悪性黒色腫の2症例
大阿久聡恵 (おおあく さとえ)、前田拓哉、永井幸司郎、加藤めぐみ、山下千聡、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

C-6-5* ペムブロリズマブ投与中に発症した水疱性類天疱瘡の1例
佐竹宏介 (さたけ こうすけ)、諏訪 学、面高俊和、佐藤勇樹、三宅知美、木庭幸子、
奥山隆平
信州大学 皮膚科

C-6-6 肺癌に対するペンブロリズマブ投与中に水疱性類天疱瘡を発症した1例
大塚幹夫 (おおつか みきお)、森 龍彦、平岩朋子、遠藤麻衣、佐藤真由、山本俊幸
福島県立医科大学 皮膚科

9:00~10:00 一般演題【SCC1】

抄録 P. 135

座長：清島真理子（岐阜大学 皮膚科）
林 周次郎（獨協医科大学 皮膚科）**D-1-1** 殿部慢性膿皮症から生じた有棘細胞癌の1例松原大樹（まつばら だいき）、菅 崇暢、江川舞華、森脇昌哉、河合幹雄、秀 道広
広島大学 皮膚科**D-1-2** 真性包茎によって発見が遅れた陰茎有棘細胞癌の3例八代 浩（やつしろ ひろし）、長谷川巧、長谷川義典
福井県済生会病院 皮膚科**D-1-3** 硬化性萎縮性苔癬より生じた有棘細胞癌の一例伊藤裕幸（いとう ひろゆき）、岩田洋平、良元のぞみ、福島英彦、齋藤健太、
渡邊総一郎、永井晶代、有馬 豪、杉浦一充
藤田医科大学 皮膚科**D-1-4*** 円板状エリテマトーデスに発症した疣状癌・有棘細胞癌の1例内田千恵¹（うちだ ちえ）、並木 剛¹、横関博雄¹、三浦圭子²
¹東京医科歯科大学 皮膚科、²東京医科歯科大学 病理部**D-1-5** HIV 感染に合併した肛門管癌の1例川平尚生¹（かわひら ひさお）、大久保葵²、有村垂希子²、馬場直子²、多田浩一²、
藤井一恭²、東 裕子²、金蔵拓郎²
¹春陽会中央病院 皮膚科、²鹿児島大学 皮膚科**D-1-6** ニボルマブを使用した頭頸部皮膚有棘細胞癌の4例杉原 悟（すぎはら さとる）、大塚正樹、濱田健吾、佐々木庸介、森章一郎、
吉川周佐、清原祥夫
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科**D-1-7*** 爪下有棘細胞癌中島康爾（なかじま こうじ）、澤村大輔、福井智久、相樂千尋、会津隆幸、中野 創
弘前大学 皮膚科**D-1-8*** 陥凹性局面を呈した頭頂部有棘細胞癌の1例周 円¹（しゅう えん）、岡村直之¹、松山かなこ¹、加納宏行¹、宮崎龍彦²、
清島真理子¹
¹岐阜大学 皮膚科、²岐阜大学 病理

座長：長野 徹（神戸市立医療センター中央病院 皮膚科）
森脇 真一（大阪医科大学 皮膚科）

D-2-1***鼻柱原発有棘細胞癌の治療経験**

野村 正¹（のむら ただし）、北川敬之¹、星野早香¹、木谷慶太郎¹、大崎健夫¹、
西尾祐美²、辻 依子³、橋川和信¹、寺師浩人¹

¹神戸大学 大学院医学研究科 形成外科学、²倉敷平成病院 形成外科、
³新須磨病院 形成外科

D-2-2**遊離広背筋皮弁を用いて再建した膝窩部熱傷瘢痕癌の1例**

安田聖人¹（やすた まさと）、黒川正人¹、伊藤 茂¹、原田慶美²、上村哲司²

¹熊本赤十字病院 形成外科、²佐賀大学 形成外科

D-2-3**大臀筋内に娘結節を生じた有棘細胞癌の1例**

須山孝雪（すやま たかゆき）、西村季紘、松木康讓、横山恵美、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-2-4**高齢者の顔面に生じた切除不能有棘細胞癌の治療経験**

白木絵莉菜¹（しらき えりな）、望月亮佐¹、松浦祥子¹、江崎 諒¹、新川衣里子¹、
小野竜輔¹、錦織千佳子¹、吉田賢史²

¹神戸大学 皮膚科学教室、²神戸大学 放射線腫瘍学分野

D-2-5***化学療法が奏功し、組織学的にリンパ節転移が陰性化した下腿の巨大有棘細胞癌の1例**

服部有希¹（はっとり ゆき）、松山かなこ¹、田中秀和^{1,2}、木村真樹³、清島真理子¹

¹岐阜大学 皮膚科、²岐阜大学 放射線科、³岐阜大学 高度先進外科

D-2-6**SCC に対しセンチネルリンパ節生検を施行した31例の検討**

日浦 梓（ひうら あずさ）、前田拓哉、大阿久聡恵、加藤めぐみ、永井幸司郎、
山下千聡、上原治朗、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

D-2-7***皮膚原発有棘細胞癌16例のセンチネルリンパ節生検と画像所見との比較検討**

脇本紘子（わきもと ひろこ）、前賢一郎、入澤亮吉、福原祐衣、桐山徳子、白井浩一、
坪井良治

東京医科大学 皮膚科

D-2-8**岐阜大学皮膚科で経験した過去10年間の進行期有棘細胞癌症例の検討**

松山かなこ（まつやま かなこ）、赤川 舞、服部有希、丹羽宏文、周 円、
清島真理子

岐阜大学 皮膚科

座長：澤村 大輔（弘前大学 皮膚科）
成澤 寛（佐賀大学 皮膚科）

D-3-1 有棘細胞癌の中に生じた Merkel 細胞癌の 1 例

川口亜美¹（かわぐち あみ）、山本有紀²、西口麻奈²、濱本千晶²、奥平尚子²、藤本正数³、
村田晋一³、神人正寿²

¹和歌山ろうさい病院 皮膚科、²和歌山県立医科大学 皮膚科、
³和歌山県立医科大学 病理診断科

D-3-2 鼠径部に生じた Merkel 細胞癌の 1 例

田中憲一郎（たなか けんいちろう）、梶原一亨、山下智香、青井 淳、伊方敏勝、
尹 浩信
熊本大学 皮膚科

D-3-3 右前腕メルケル細胞癌の 1 例

七戸龍司¹（しちのへ りゅうじ）、三浦勝利²、篠原敏也³

¹手稲溪仁会病院 形成外科、²手稲溪仁会病院 放射線治療科、³手稲溪仁会病院 病理診断科

D-3-4* 生検後に自然消退した Merkel 細胞癌の 1 例

蓮池智子¹（はすいけ ともこ）、小澤俊幸¹、野間直樹¹、白鳥実友¹、葛谷早喜子¹、
櫻井洋太郎¹、大澤政彦²、鶴田大輔¹

¹大阪市立大学 皮膚病態学、²大阪市立大学 診断病理・病理病態学

D-3-5* 肘窩センチネルリンパ節生検で陰性確認後に上腕に in-transit 転移を生じたメルケル細胞癌の 1 例

横山恵美（よこやま めぐみ）、須山孝雪、西村季紘、松木康讓、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-3-6 アベルマブが著効した左下腿メルケル細胞癌の 1 例

四十万谷貴子（しじまや たかこ）、谷村裕嗣、宮本真里、長野奈央子、中丸 聖、
槇村 馨、清原隆宏
関西医科大学総合医療センター

D-3-7 アベルマブを投与したメルケル細胞癌の 2 例

神野泰輔¹（かんの たいすけ）、山崎 修¹、石井芙美¹、横山恵美¹、川上佳夫¹、
森実 真¹、野村隼人²

¹岡山大学 皮膚科、²岡山済生会総合病院 皮膚科

D-3-8* アベルマブ投与後に炎症性関節炎を生じたメルケル細胞癌の 1 例

桐山徳子¹（きりやま のりこ）、入澤亮吉¹、川上 洋¹、神崎綾乃¹、原田和俊¹、
木内章裕²、清水 顕³、水内隆浩⁴、坪井良治¹

¹東京医科大学病院 皮膚科、²東京医科大学病院 高齢診療科、³東京医科大学病院 耳鼻科、
⁴東京医科大学病院 リウマチ・膠原病内科

D-3-9* アベルマブと全脳照射の併用療法が奏効したメルケル細胞癌脳転移の一例
面高俊和 (おもだか としかず)、佐竹宏介、諏訪 学、三宅知美、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科学教室

D-3-10* 放射線療法にアベルマブを併用し著効したメルケル細胞癌の1例
伊藤 誠 (いとう まこと)、兼島明子、松尾雄司、林健太郎、宮城拓也、内海大介、
山口さやか、新嘉喜長、山本雄一、高橋健造
琉球大学 皮膚科

15:35~16:25 一般演題【メラノーマ8】

抄録 P. 142

座長：大山 学 (杏林大学 皮膚科)

加藤 則人 (京都府立医科大学 皮膚科)

D-4-1 咽頭転移をきたし胃瘻からダブラフェニブ・トラメチニブを投与した悪性
黒色腫の1例

佐々木梓 (ささき あずさ)、三井純雪、金淵優樹、天野典子、大久保志ずか、天羽康之
北里大学 皮膚科

D-4-2 BRAF 遺伝子陽性の切除不能悪性黒色腫に対する治療例の検討

大阿久聡恵 (おおあく さとえ)、前田拓哉、永井幸司郎、加藤めぐみ、山下千聡、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

D-4-3 当科における悪性黒色腫に対するダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法の
まとめ

大黒督子¹ (おおぐろ とくこ)、小橋陽加¹、寺石美香¹、中島英貴¹、石元達士²、
小河真帆³、宮崎涼平⁴、中川宏治⁵、佐野栄紀¹
¹高知大学 皮膚科、²高知県立幡多けんみん病院 皮膚科、³高知大学 外科1、
⁴高知大学 外科2、⁵高知赤十字病院 形成外科

D-4-4 高齢者に対するダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法の経験

中野英司 (なかの えいじ)、高橋 聡、並川健二郎、奥村真央、筒井啓太、
名嘉真健太、水田栄樹、陣内駿一、武藤雄介、山崎直也
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

D-4-5 ダブラフェニブ・トラメチニブ内服中に血小板減少を来した悪性黒色腫の
1例

多田瑞穂 (ただ みづほ)、生野知子、石川一志、波多野豊
大分大学 皮膚科

D-4-6 免疫チェックポイント阻害薬投与後の BRAF+MEK 阻害薬による有害事象の
検討

山下千聡 (やました ちさと)、前田拓哉、大阿久聡恵、永井幸司郎、加藤めぐみ、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

座長：門野 岳史（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）
安田 正人（群馬大学 皮膚科）

D-5-1 BRAF+MEK 阻害薬による発熱と血中 CRP の相関

山下千聡（やました ちさと）、前田拓哉、大阿久聡恵、永井幸司郎、加藤めぐみ、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

D-5-2 ダブラフェニブ+トラメチニブ併用療法により網膜剥離を来した悪性黒色腫の1例

貴志有紗¹（きし ありさ）、大橋洋之¹、安藤 南¹、松浦佳奈¹、北澤智子¹、門野岳史¹、
豊田泰大²
¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²聖マリアンナ医科大学 眼科

D-5-3 Dabrafenib+Trametinib 併用療法によって生じた発熱性好中球減少症

金子高英¹（かねこ たかひで）、福井智久¹、相楽千尋¹、滝吉典子¹、六戸大樹¹、
会津隆幸¹、澤村大輔¹、須賀 康²
¹弘前大学 皮膚科、²順天堂大学附属浦安病院 皮膚科

D-5-4* binimetinib が原因と考えられた漿液性網膜剥離の3例

和田尚子^{1,2}（わだ なおこ）、内 博史^{1,2}、古江増隆²
¹九州がんセンター 皮膚科、²九州大学 皮膚科

D-5-5 BRAF 阻害剤で加療中に白斑様脱色素斑が見られた悪性黒色腫の1例

山田雅之（やまだ まさゆき）、山田勝裕、斎藤洋平、能登 舞、長田真一、眞鍋 求
秋田大学 皮膚科

D-5-6* ダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法中に黒色腫関連性白斑を生じた悪性黒色腫の1例

水野 尚（みずの たかし）
小田原市立病院

9:00～10:00 一般演題【パジェット病1】

抄録 P. 152

座長：浅井 純（京都府立医科大学 皮膚科）

村田 洋三（神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科）

- E-1-1*** パンツ型紅斑内に褐色結節を認めた乳房外 paget 癌の一例
岩平紘佳¹（いわひら ひろか）、中内恵美¹、西岡美南¹、山本哲久¹、熊野公子¹、高井利浩²
¹宝塚市立病院 皮膚科、²兵庫県立がんセンター 皮膚科
- E-1-2** 乳房外パジェット病の2例～下腹部および臀部発症例
佐藤友利¹（さとう ゆり）、丹治峻之¹、三浦慎平¹、中川倫代¹、角田加奈子¹、
大西正純¹、天野博雄¹、馬場由香²、前田文彦³、菅 慶子⁴
¹岩手医科大学 皮膚科、²盛岡赤十字病院、³前田皮膚科クリニック、
⁴菅整形外科・皮膚科クリニック
- E-1-3** 肛門 Paget 現象を呈し乳房外 Paget 病との鑑別が困難であった肛門管癌の1例
佐々木駿（ささき しゅん）、鈴木茉莉恵、末木博彦
昭和大学 皮膚科
- E-1-4** 尿管皮膚瘻周囲に生じた二次性乳房外 Paget 病の一例
川田裕妹子（かわた ゆみこ）、横山大輔、高井利浩
兵庫県立がんセンター
- E-1-5** ナブパクリタキセルが奏効した進行期乳房外 Paget 病の1例
紺野隆之（こんの たかゆき）、荒木勇太、逸見愛美、三浦杏子、鈴木民夫
山形大学 皮膚科
- E-1-6** 根治術 10 年後に再発を認め、各種化学療法を施行した乳房外 Paget 病の1例
梶原一亨（かじはら いっこう）、浦田和美、田中憲一郎、井上久仁子、尹 浩信
熊本大学 皮膚科
- E-1-7** 化学療法後に SIADH を発症した乳房外 Paget 病の1例
斉藤剛史（さいとう たけふみ）、上原治朗、佐々木健太、松谷泰祐、土井春樹、
本間 大、山本明美
旭川医科大学 皮膚科
- E-1-8*** Docetaxel 無効の進行期乳房外 Paget 病に paclitaxel が奏功した1例
砂川 文（すなかわ あや）、小松恒太郎、栗澤 剛
那覇市立病院 皮膚科

座長：高井 利浩（兵庫県立がんセンター 皮膚科）
山本 有紀（和歌山医科大学 皮膚科）

E-2-1***ベンジジン暴露歴のある患者に発症した乳房外 Paget 病**

浦上揚介¹（うらかみ ようすけ）、田中 了¹、林 宏明¹、青山裕美¹、高崎宏靖²、
神谷伸彦³、西村広健⁴

¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 泌尿器科、³川崎医科大学 放射線科、
⁴川崎医科大学 病理部

E-2-2**恥骨部に生じた浸潤性乳房外パジェット病と上皮内悪性黒色腫の衝突腫瘍**

芳賀貴裕（はが たかひろ）、大熊崇生

気仙沼市立病院 皮膚科

E-2-3**放射線治療を行った乳房外 Paget 病の 5 例**

谷村裕嗣（たにむら ひろつぐ）、宮本真里、四十万谷貴子、長野奈央子、中丸 聖、
榎村 馨、清原隆宏

関西医科大学総合医療センター 皮膚科

E-2-4**リンパ節転移後に骨転移を生じた乳房外パジェット病の 2 例**

加藤めぐみ（かとう めぐみ）、前田拓哉、大阿久聡恵、山下千聡、永井幸司郎、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

E-2-5**環状に多中心性病変を認め肉眼的病変範囲の特定が困難であった外陰部乳房外 Paget 病の 1 例**

渡邊充希子（わたなべ みきこ）、藤原 暖、眞部恵子、浅越健治

岡山医療センター 皮膚科

E-2-6**当院における乳房外パジェット病に対するセンチネルリンパ節生検**

筒井啓太^{1,2}（つつい けいた）、高橋 聡¹、水田栄樹¹、武藤雄介¹、陣内駿一¹、
名嘉真健太¹、奥村真央¹、中野英司¹、並川健二郎¹、山崎直也¹

¹国立がん研究センター中央病院、²福岡大学 皮膚科学教室

E-2-7**乳房外パジェット病にセンチネルリンパ節生検を施行した 116 例の検討**

永井幸司郎（ながい こうじろう）、前田拓哉、大阿久聡恵、加藤めぐみ、山下千聡、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

E-2-8**進行期乳房外パジェット病における予後予測因子の検討**

高岡真梨子（たかおか まりこ）、尾松 淳、淡路健太郎、沼尻宏子、河合 徹、
船水 薫、三枝良輔、宮川卓也、山田大資、佐藤伸一

東京大学 皮膚科

座長：国定 充（神戸大学 皮膚科）
原田 和俊（東京医科大学 皮膚科）

E-3-1* 所属リンパ節に多発微小転移を来した大腿部 Eccrine porocarcinoma (EPC) の一例

北川敬之（きたがわ ひろし）、大崎健夫、星野早香、田村亮介、野村 正、橋川和信、
寺師浩人
神戸大学 形成外科

E-4-5 左上眼瞼に生じた Moll 腺癌の 1 例

横山大輔¹（よこやま だいすけ）、八尋知里¹、川田裕味子¹、高井利浩¹、榊原俊介²、
松居秀敏³
¹兵庫県立がんセンター 皮膚科、²兵庫県立がんセンター 形成外科、
³兵庫県立がんセンター 頭頸部外科

E-3-3* 脂腺母斑から発生したアポクリン腺癌の 1 例

吉田裕梨（よしだ ゆり）、加賀野井朱里、藤森なぎさ、小林佑佳、小澤健太郎
大阪医療センター 皮膚科

E-3-4 術前化学療法が奏功した腋窩アポクリン腺癌の 1 例

上田麻衣（うえだ まい）、松谷泰祐、土井春樹、佐々木健太、小林友紀、長澤有祐、
斉藤剛史、上原治朗、本間 大、山本明美
旭川医科大学 皮膚科

E-3-5 Endocrine Mucin-producing Sweat Gland Carcinoma の 4 例

中村元樹^{1,2}（なかむら もとぎ）、加納慎二¹、真柄徹也¹、加藤裕史^{1,2}、小沢広明³、
森田明理¹
¹名古屋市立大学 皮膚科、²岡崎市民病院 皮膚科、³岡崎市民病院 病理診断科

E-3-6 神経内分泌分化を示した右腋窩汗腺癌の 1 例

小倉康晶（おぐら やすあき）、花井志帆、影山玲子、島内隆寿、戸倉新樹
浜松医科大学 皮膚科学講座

E-3-7 頭部の巨大汗腺系悪性腫瘍の 1 例

佐々木仁（ささき じん）、藤川大基、勝見達也、齋藤勇輝、結城明彦、阿部理一郎
新潟大学医歯学総合病院 皮膚科

E-3-8* 頭頂部に生じた Proliferating trichilemmal cyst の一例

長谷川巧^{1,2}（はせがわ たくみ）、八代 浩¹、長谷川義典¹
¹福井県済生会病院 皮膚科、²福井大学 皮膚科

座長：梅林 芳弘（東京医科大学八王子医療センター 皮膚科）
 福島 聡（熊本大学 皮膚科）

E-4-1 後頭部 pilomatrical carcinoma の 1 例

田中 了¹（たなか りょう）、木村徹子¹、梅田善康¹、松野岳志²、西村広健²、青山裕美¹
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 病理学

E-4-2 鎖骨部に生じた Malignant spiradenoma の一例

江川昌太¹（えがわ しょうた）、岸 晶子²、軸屋そのこ²、井上里佳²、吉田亜希²、
 林 伸和²、元木大子³
¹虎の門病院、²虎の門病院 皮膚科、³虎の門病院 病理診断科

E-4-3* Primary cutaneous adenoid cystic carcinoma の一例

江藤博文（えとう ひろふみ）、持田耕介、黒木脩也、前川和也、天野正宏
 宮崎大学 皮膚科

E-4-4* in situ 病変を伴った脂腺癌の 1 例

飯野志郎¹（いいの しろ）、加藤卓浩¹、北風光平¹、馬場夏希¹、尾山徳孝¹、長谷川稔¹、
 樋口翔平²、今村好章²
¹福井大学 皮膚科、²福井大学 病理部

E-3-2 シスプラチン+5FU 療法を試みた進行期エクリン汗孔癌の 1 例

古岡慶子¹（ふるおか けいこ）、増田泰之¹、中村文香^{1,3}、谷川絢乃¹、鷺見真由子^{1,2}、
 小坂博志¹、長野 徹¹
¹神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科、²神戸大学 皮膚科、
³神戸市立西神戸医療センター

E-4-6 遠隔転移をきたした悪性皮膚混合腫瘍の 1 例

平井郁子¹（ひらい いくこ）、中村善雄¹、種瀬啓士¹、天谷雅行¹、三上修治²、船越 建¹
¹慶應義塾大学 皮膚科、²慶應義塾大学 病理診断科

座長：相場 節也（東北大学 皮膚科）
 吉川 周佐（静岡県立静岡がんセンター）

E-5-1 進行期悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性に関する前向き観察研究 (CREATIVE) ～中間解析～

加藤潤史¹（かとう じゅんじ）、高橋 聡²、並川健二郎²、竹之内辰也³、中村泰大⁴、
 北野滋久⁵、藤田知信⁶、窪田和巳⁷、河上 裕⁵、山崎直也²
¹札幌医科大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
³新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、
⁴埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、
⁵国立がん研究センター中央病院 先端医療科、
⁶慶應義塾大学 先端医科学研究所 細胞情報研究部門、⁷横浜市立大学 医学研究科臨床統計学

E-5-2 ケモカインによる抗 PD-1 抗体療法の治療効果予測
中村謙太 (なかむら けんた)、芦田敦子、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

E-5-3 血清因子による抗 PD1 抗体治療効果予測法の開発
藤村 卓¹ (ふじむら たく)、佐藤遥太¹、谷田佳世¹、神林由美¹、大塚篤司²、藤澤康弘³、
吉野公二⁴、松下茂人⁵、日高高德¹、相場節也¹
¹東北大学 皮膚科、²京都大学 皮膚科、³筑波大学 皮膚科、⁴都立駒込病院 皮膚腫瘍科、
⁵鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科

E-5-4 ニボルマブ+イピリムマブ併用療法が進行期悪性黒色腫の腫瘍免疫環境に
与える影響の検討
天貝 諒 (あまが い りょう)、藤村 卓、谷田佳世、佐藤遥太、遠野久幸、橋本 彰、
相場節也
東北大学 皮膚科

E-5-5 悪性黒色腫免疫チェックポイント阻害薬治療における炎症・栄養指標の
有用性
森章一郎¹ (もり しょういちろう)、吉川周佐²、杉原 悟²、佐々木庸介²、濱田健吾²、
大塚正樹²、清原祥夫²
¹名古屋大学 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター

E-5-6 ニボルマブ非奏効後カルボプラチン+パクリタキセル療法を施行した悪性
黒色腫患者 14 例の抗腫瘍効果の検討
前田拓哉 (まえだ たくや)、大阿久聡恵、永井幸司郎、加藤めぐみ、山下千聡、
日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

17:15~17:55 一般演題【手術】

抄録 P. 162

座長：安倍 吉郎 (徳島大学 形成外科)
野村 正 (神戸大学 形成外科)

E-6-1 当科での皮膚悪性腫瘍手術の周術期抗生剤の使用状況、術後感染症の発生頻度
について
陣内駿一 (じんない しゅんいち)、山崎直也、筒井啓太、名嘉眞健太、水田栄樹、
中野英司、並川健二郎、高橋 聡
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

E-6-2 腓腹皮弁において再建した高齢者における踵部皮膚悪性腫瘍の 2 例
岩下宣彦¹ (いわした のぶひこ)、柴田知之¹、石黒暁寛¹、竹尾友宏¹、渡辺大輔¹、
山田益丈²
¹愛知医科大学 皮膚科、²多治見市民病院 皮膚科

E-6-3 徳島大学形成外科で切除および再建を行った軟部肉腫症例の検討
安倍吉郎 (あべ よしろう)、石田創士、峯田一秀、山下雄太郎、吉本 聖、橋本一郎
徳島大学 形成外科

E-6-4 下眼瞼癌の再建—minimal cheek flap (仮称) —
吉龍澄子 (よしたつ すみこ)、白石万紀子
大阪医療センター 形成外科

E-6-5 皮膚がん手術におけるセンチネルリンパ節生検の有用性の検討
遠藤雄一郎 (えんどう ゆういちろう)、小松貴義、椋島健治
京都大学 皮膚科